



KUMAMOTO GREEN The Weekly Bulletin Rotary-Club



世界へのプレゼントになろう

2015-2016年度
テーマ

国際ロータリー 「世界へのプレゼントになろう」

地区方針 「ロータリーの活動を通して、新たな気づきを、そして自己の成長へつなげよう」

熊本グリーンR.C. 「ロータリーの可能性に挑む」

R.I. 会長 K.R. "ラビ"ラビンドラン

R.I. 2720 地区 ガバナー 野田 三郎

熊本グリーンR.C. 会長 大友利行

■例会日：毎週月曜日 18:30~19:30
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：大友 利行 ■幹事：荒木 一之 ■会報担当：長野 義文
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@serc2720.org

国際ロータリー 第2720地区 熊本グリーンロータリークラブ週報

【2015年11月7日】

第1194回
2015-2016年度 第14回
【例会】

1. 開会・点鐘 18:30
2. 食事と交歓

君が代
「友と語ろう」(ロータリーソング)

来訪者紹介 (大友 利行 会長)

・石井政宏 米山カウンセラー (宇土RC)

・卓話者: 米山奨学生
張瀚丞(チョウ カン ショウ)さん(国籍:中国)

友情の握手

会長スピーチ (大友 利行 会長)

今夜は米山奨学生の張さんの卓話ですので、先週の続きを話します。

随・唐に続く宋代に中国社会は大転換を迎えますが、その中で南宋時代の朱熹(しゆき)によって立てられた朱子学の思想が、科挙制度の公式マニュアルとなることで、選抜された官僚及び科挙制度で選んだ皇帝は単なる恣意的な専制君主ではなく、権力者達の正当性を朱子学におくことで聖人に相応しい振る舞いを求められることにより、人民の信頼を得ることとなりました。

科挙は、587年に出来たとされますが驚くべ

きことです。この時代、ヨーロッパではゲルマン民族の移動の大混乱がようやくおさまりにかけた時期、日本ではこの年に物部守屋一族が蘇我氏に滅ぼされる事件があり、推古天皇即位に至る混乱期です。

こんな時代に中国では科挙制度を作り、以来清朝の1904年まで続きました。長きに亘ったので、味は時代で変化します。(宮崎市定著「科挙」(中公新書)日本には隋・唐の制度は伝えられましたが、宋代から学ぶことは出来ませんでした。そのような制度はその実現のためには、種々の知識や技術が必要であり、それが日本には欠けていたということでした。

幹事報告 (荒木 一之 幹事)

■ 例会変更

<変更>

【熊本りんどうRC】

11月26日(木)の例会は、夜の例会のため、当日19:00より行います。場所は未定です。



卓話
予定

- 11/16 「ロータリーと奉仕」熊本第3グループガバナー補佐 倉田 榮喜 氏 (熊本北RC)
- 11/23 祝日(勤労感謝の日) 定款第6条第1節に基づき 例会取止め
- 11/30 「2020年大学入試は何が変わる」(株)なるほどゼミナール 社長 山中孝光 氏
- 12/7 「ロータリーの友について」本田 悟士 会員

グリーン・クラブの例会日がきても、出席するかどうか決めるには及びません。というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

慶 事

(田中 純司 クラブ管理運営委員)
(親睦担当長)

★11月誕生祝★

上田 観一 君	S22.11.3
中島 光司 君	S24.11.13
福島 和見 君	S39.11.11
福島 豊弘 君	S30.11.24



出席報告

葉 高源クラブ管理運営委員 (出席担当長)

	会 員 総 数	22名	出席率
11月2日	出席免除会員数	2名	60.00%
	計算上会員数	20名	
	出席会員数	12名	
10月19日	前回の出席会員数	14名	75.00%
	メイクアップ数	1名	
	修正出席会員数	15名	
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			
・10/8グリーンローターアクト 山下 君			

委員会報告

①グリーンロータリー農園

報告者：仙波 洋八 会員
グリーンロータリー農園につきましては、松村会員が県政の為頑張っておられ、多忙の為、暫く休眠といたします。また再開した際はご協力の程をお願い致します。

②「11月卓話スケジュール」のご案内

報告者：仙波 洋八プログラム担当長

お知らせ
熊本グリーンロータリークラブより

★11月第2例会
(11月18日(水) 20:00~21:30)
の会場は中央公民館の調理室で行うことになりました。
ロータリーの皆様は特に持参して頂く必要のあるものではありません。
※スコーンづくりをします。

11月 卓話スケジュール
～「ロータリー財団月間」～

9日 熊本グリーンRC・熊本北RC合同例会
「松井家の歴史と文化財について」
第十四代松井家当主
八代神宮宮司 松井葵之氏
※ 例会終了後場所を移動して「懇親会」開催
(於：「もっとも」 上通 村上屋ビル2F)

16日「ロータリーと奉仕」
熊本第3グループガバナー補佐
倉田 榮喜 氏 (熊本北RC)

23日 祝日 (勤労感謝の日)
定款第6条第1節に基づき 例会取止め

30日 「2020年大学入試は何が変わる」
(株)なるほどゼミナール 社長 山中孝光 氏

スマイル (上田 観一会員)

- 米山カウンセラー 石井 政宏 君
「本日は米山奨学生の張瀚丞(チョウカンショウ)君を卓話によんで頂きましてありがとうございます。私のミスで張君を熊本グリーンロータリークラブの皆様にご紹介することが大変遅れました。申し訳ございませんでした。これから、米山奨学生の張瀚丞君をどうぞ宜しくお願い致します。」
- 大友 利行 君、荒木 一之 君
「今日は、米山奨学生張瀚丞様の卓話楽しみにしています。宜しくお願い致します。」
- 田中 純司 君
「米山奨学生 張瀚丞様ようこそいらっしゃいました。卓話よろしくお願い致します。」
- 上田 観一 君
①「本日は誕生祝いをありがとうございます。健康に注意しながら仕事と遊びと楽しく人生を過ごしたいと思います。」
②「米山奨学生、張瀚丞(チョウカンショウ)さんの卓話歓迎致します。宜しくお願い致します。」
- 河島 一夫 君、葉 高源 君、中島三千代 君
「米山奨学生の張瀚丞さん、ようこそ私共のクラブへいらっしゃいました。卓話を楽しみにしています。日中韓の三国による首脳会議がやっとありました。漢字圏の国として仲良い隣国でありたいものです。」

3. 例会プログラム

司会：(紹介者)：石井政宏米山カウンセラー (宇土RC)

卓話者

米山奨学生 張瀚丞 (チョウカンショウ) さん (国籍：中国)
熊本学園大学 商学部商学科4年

「私の祖国、将来の夢について」



米山カウンセラー
石井 政宏 氏(宇土RC)



4. 閉会・点鐘

最優先事項

ポリオ撲滅のためにできること

認識を高め、ポリオ撲滅活動を 続けていくために



ここ数年間に大きく前進した世界ポリオ撲滅推進活動（GPEI）。9月には、ナイジェリアで野生型ポリオウイルスによる発症が1年間ゼロだったことを受け、世界保健機関（WHO）が同国をポリオ常在国リストから除外したことに加え、アフリカ大陸全体でもポリオの発症が1年以上報告されていません。GPEIの官民パートナーシップと世界中のロータリーによる懸命な活動により、ポリオの発症数は99.9%減少しています。

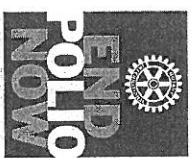
さらに、野生型ポリオウイルスが強く残るパキスタンとアフガニスタンが常在国リストから除外され、ポリオが世界的に撲滅されるまでは、手を緩めるわけにはいきません。

10月23日にニューヨークで行われた世界ポリオデーのライヴストリーミング行事では、これらの進捗にスウェットライトが当てられただけでなく、歴史上2番目となる疾病の根絶においてロータリー会員がどう貢献できるかを紹介しました。

アフリカが「ポリオフリー」と認定されるには、大陸全体の国で2年以上ポリオウイルスの無発症を維持しなければなりません。これを達成するには、アクセスが困難な地域や今まで予防接種が行われていない地域に住む子どもたちを含め、ナイジェリアのすべての子どもにもポリオの予防接種を行うことが先決です。また、質の高い予防接種キャンペーンとポリオの監視活動を続けていくことが不可欠となります。



① ポリオ撲滅活動の詳細は、endpolio.orgをご参照ください。
写真撮影：Diego Ibarra Sanchez



アトボカシー活動、ポリオ撲滅活動のこれまでの成功の大半は、官民のパートナーシップ。各国政府はポリオ撲滅を資金面で大きく支援しています。政府関係者への感謝状を送るなどして、政府による支援に感謝の意を表すとともに、引き続きポリオ撲滅を最優先事項として扱うよう働きかけましょう。



募金 6月現在、ロータリー会員から寄せられたポリオ撲滅への寄付金は6億8850万ドルであり、これには、ナイジェリアでの活動のための2億ドルが含まれています。ビル&メリンダ・盖茨財団は、ロータリーがポリオ撲滅のために集める寄付に続いて富額を乗せします。これにより皆さまからのご寄付が3倍となってポリオ撲滅に役立てられます。



関連行事の開催、ポリオ撲滅に関する例会や行事を開催しましょう。地元ジャーナリストや入会見込者を招き、これまでの経緯や必要な支援について説明することが重要です。



ソーシャルメディアで情報発信。ツイッタールのアカウント（@Rotary、@RotaryJapan、@EndPolioNow）をフォローしてポリオ撲滅の最新情報を入手し、自分のソーシャルメディアで共有しましょう。クワンヤ地区のウェブサイトに、世界ポリオデーのライヴストリーミングの動画リンクを掲載するのも一案です。

